別添資料1

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表: 2024年 3 月 1 日　　事業所名　COCOLO東淀川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	2		児発＋放デイの多機能型の事業所である為、利用人数によっては手狭に感じる。
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1		もう少し配慮が必要だと思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	3		より深い利用者理解のために、研修の実施回数が増えると良い。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	活動のねらいを共有し、スタッフ間で意見を出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		毎月、季節感のある制作・取り組みを行い、固定化しないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1	それぞれに合った課題を設定し、無理のないように取り組んでいる。	きめ細やかには設定できている。もっと活動内容のアイデアを出し合って行きたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9		利用者に必要なニーズを職員全体の会議で共有し、個別・集団活動を組み合わせた計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	支援開始前に、当日の子どもの体調や様子を共有し役割分担を行っている。	伝え漏れが無いように心掛けたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	業務日報に記録として残すことで、職員全体に共有できるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2	日々の記録を残し、、支援内容を振り返ることができるようにしている。	記録はしっかり取れているが、より細やかな変化・気づきを記録して行きたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	9			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児発管と対象の子どもの状況に精通した職員の二人体制で必ず会議に参画している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9		引き渡し時に、学校・事業所での様子や連絡事項を共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	1		
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	3		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		引き渡し時によく保護者とコミュニケーションを取り、情報の共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	7	2		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		相談を受けた際はスタッフ間で共有し、対応を考えている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4	運動会等の機会に保護者を招待している。	運動会の観覧時に、保護者同士の交流が出来る機会がもとっとあれば良かった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		苦情を受けた際は、すぐに管理者・スタッフで共有し対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1		
	35	個人情報に十分注意している	9		SNSの運用においても、書面による承諾を得て写真を掲載している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	2		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2	ヒヤリとした場面をまとめて、改善に繋げている。	